

# 上位作品には 制作意図が明確に



十一月二十八日から二十五日までの八日間、市民体育館で開かれていた第十六回南国市美術展は約八千人あまりの市民を集め幕を閉じました。

搬入作品は一般、児童の部を合わせて一万九百二十七点の作品が集り、この中から二千八百二点が選ばれ展示されました。

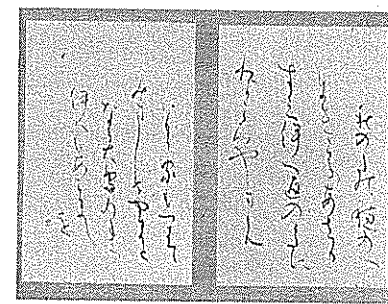
一般の部の審査では、筒井真道(洋画)、田岡耕作(日本画)、森光喜(彫塑・工芸)、平山昌幸(漫画)、福原云外(書道)、大野敦英、高芝晴喜(写真)の各部門の審査員により行われ、特選七点、褒状十六点の他に、今回から新設された奨励賞五点も選ばれました。また、入選は百九十九点でした。

幼児・児童・生徒の部では、特選二百十九点、入選二千三百二十

九点でした。

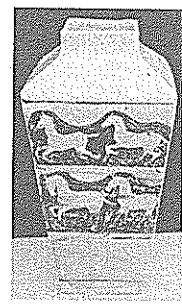
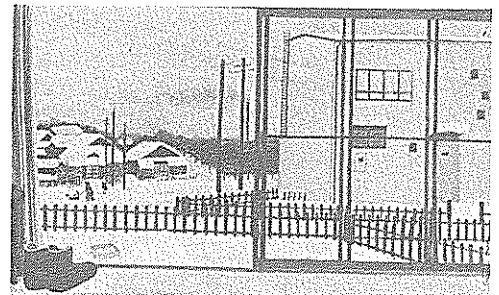
◆洋画◆  
 ■特選  
 池知隆(篠原) 『仲間たち』  
 ■褒状  
 高野祥子(大浦) 『手結港』 吉川秀子(三富) 『人物』  
 ■無鑑査  
 武内光仁(高知市) 山崎次(大浦) 細川義彰(上野田) 島村義一(片山) 田島啓巳(大浦) 橋詰正利(植田)

◆書道◆  
 出品点数が例年よりかなり減っていることは残念である。が、新人の進出もあって、出品作そのものは質的に落ちたとは言えない。今後、出品者の層を厚くするよう努めてゆけば、その充実度は期待できよう。なお、作品の傾向としては、いわゆる今目的な新しい形式を追求しようとする傾向が好ましくな



◆日本画◆  
 ■特選  
 野口須磨子(下野田) 『土崎港(秋田)の昼さかり』  
 ■褒状  
 柴田香(後免町) 『グリヤ』  
 ■奨励賞  
 田島あつみ(大浦) 『晩秋の焼岳』  
 ■無鑑査  
 伊尾木正太郎(東崎) 橋詰正利(植田)

◆彫塑・工芸◆  
 ■特選  
 関敏夫(高知市) 『浮き彫り文様四方花器』  
 ■褒状  
 橋詰正利(植田) 『家族(鉄)』 葛目仁子(岡豊町) 『ブラウス』 東千葉高計(測科一年生共同作品) 『77カレンダー』

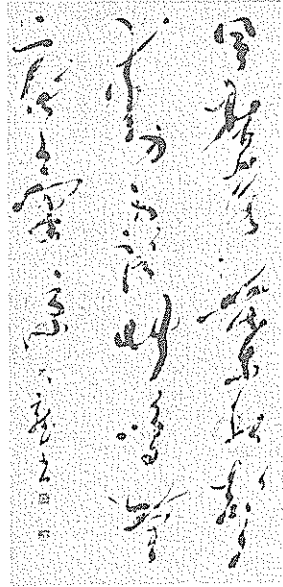


出品点数の半減が何によるかはわからないが、これまでにない低調さは、まことにさびしい。作品

第十六回展ともなれば全般的に作品のレベルは高く、彫塑・工芸の部門としても、技術的にも順調に一定の水準を示す作品が多く見られます。今後は作品を創作する

姿勢が極めて重要な課題となりましょう。常に綿密周到な計画立案のもとに、無駄のない素直な美しさを表現し得る能力を養うためには、先輩の優れた作品に接する機会をなるべく多く持つことも必要であります。みだりに模倣することなくその作品の神髄に触れるよう研究を積み重ね、あくまで自分自身の創作に徹する姿勢こそ最も肝要であります。創作は孤独で

## 第16回南国市美術展



あつて厳しく苦しく、お互い物を作る人々の宿命であることを銘記せねばなりません。

◆漫画◆  
 ■褒状  
 葛目義人(岡豊町) 『模範議員候補者』  
 ■奨励賞  
 島崎正博(大浦) 『プロンティ』  
 ■無鑑査  
 沢本英世(里改田) 『ノー政の作付転換』 『黒き一雲』

ロッキード問題を中心にして、国の内外とも多事な今年も容れようとしている。しかも、十一月五日の注目の総選挙を前にして、今年も相変わらず出品者数は少いが政治を皮肉った作品が目についた。

◆書道◆  
 ■特選  
 門脇勲(土佐山田町) 『万葉秀歌』 坂本大龍(高知市) 『風林落葉』  
 ■褒状  
 小川咲華(上野田) 『万葉歌一首』 西村薫花(小籠) 『兼愛』 茨木方尾(高知市) 『百人一首』 松岡冬紅(東崎) 『翠竹』 矢野天道(篠原) 『寿山』  
 ■奨励賞  
 毛利悠映(大浦) 『あそぶ』  
 ■無鑑査  
 川内悠溪(大浦) 弘末咲翠(里改田) 『評』



威佳志(大浦) 『白鷺(圓)』  
 ■褒状  
 竹内律(里改田) 『信仰への道』 岡本守正(大浦) 『秋』 松村克己(小籠) 『忍』 友永喬(稲生) 『ひとりぼっち』

書道の部は作品が増加しているだけあって水準が高い。地方展ではおそらく最高の部であろう。指導者の関係もあり作品傾向が狭いのは止むを得ないことであろうが、将来に向けて個性的表現を期待したい。現代の書は単に筆技の巧拙だけでなく、内面の訴えが要求されることを認識されたい。しかし今回はつとめて広い視野に立った審査を心がけたつもりである。

◆写真◆  
 ■特選  
 筒井真道(大浦) 『航跡』 藤田

■奨励賞  
 麻田清(大浦) 『道』  
 ■無鑑査  
 水田貴士(岡豊町) 原孝士(土佐山田町) 土居正道(立田) 『評』

昨市展に比べ応募数の減少は残念なことですが、今年の内容は他市町村展には見られない充実ぶりです。応募作品の内容も各々に充実して審査に難航しましたが、制作意図(何を表現しようとした)の明確な作品が上位を占め、目的意図の弱い作品が落選しました。

### 作品紹介

右ページより、①洋画 『仲間たち』 池知隆(篠原) ②書道 『万葉秀歌』 (作品の一部) 門脇勲(土佐山田町) ③日本画 『土崎港(秋田)の昼さかり』 (下野田) ④彫塑・工芸 『浮き彫り文様四方花器』

関敏夫(高知市)、左ページへ移って、⑤書道 『風林落葉』 坂本大龍(高知市) ⑥写真 『白鷺(圓)』 藤田威佳志(大浦) ⑦写真 『航跡』 (カラー) 筒井真道(大浦)

